

支援者からみた獣害対策の転換点 私達が地域支援部を設立したワケ

東北野生動物保護管理センター
 代表 宇野 壮春



創業 平成19年 創業18年目

従業員数 19名

業務 野生動物の保護管理全般

活動範囲 東北地方を中心に活動



すべての可能性を追求し、人と野生動物の共生を図る

従来の業務



野生動物の適応戦略を解き明かす

動物側へのアプローチ

動物を知ること

生息
 (数・場所・環境等)
 生態
 (行動・移動ルート・頻度等)

動物の質を変えられるか
 モニタリングの重要性

調査研究部



従来の業務



年度	被害総数	被害総額	被害総額(円)	被害総額(万円)
2010	17,848	1,712	17,120,000	1,712
2011	18,264	8,309	18,637,000	1,864
2012	18,838	9,870	18,679,000	1,868
2013	19,685	10,339	19,685,000	1,969
2014	20,547	11,243	20,487,000	2,049
2015	20,487	12,269	21,269,000	2,127
2016	20,470	13,523	21,523,000	2,152
2017	20,118	15,472	21,523,000	2,152
2018	19,490	15,773	21,523,000	2,152
2019	18,828	12,748	18,828,000	1,883
2020	17,824	12,791	18,828,000	1,883
2021	18,264	13,742	18,828,000	1,883

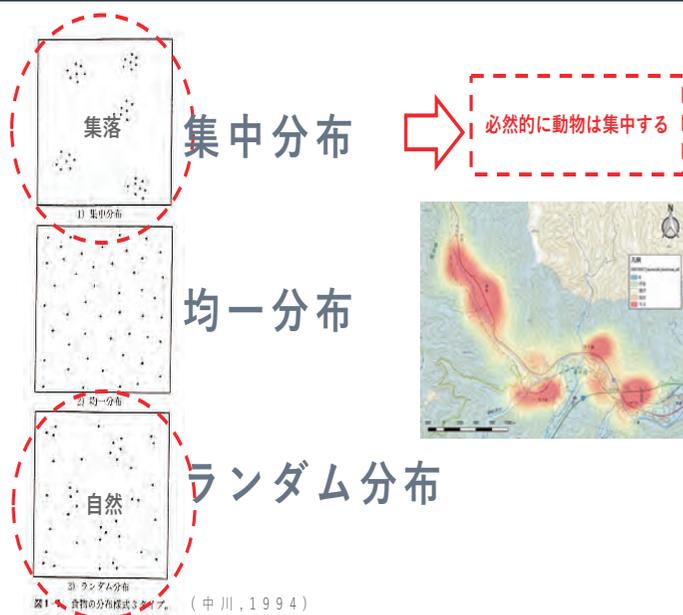
魅力的な里



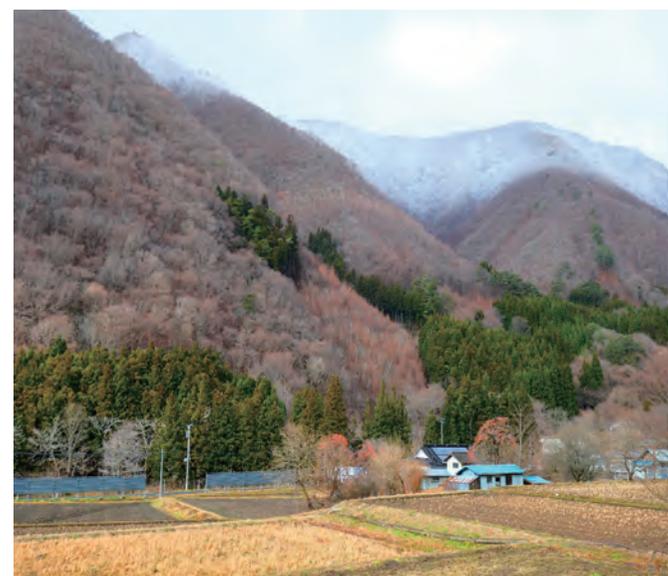
集落の縮小版



食物の分布様式



恐怖と欲求の対立理論



現状は集落での意図しない
餌付けが続いている

8

人の工夫は動物にバレている?



9

管理体制の不備



正しい設置をしなければ
税金の無駄遣い

野生動物は賢い、人間はもっと賢い

11

地域支援部の設立（2021年）



人側へのアプローチ

地域を支援すること

行政支援
（計画策定、事務の支援等）
地域支援
（普及、診断、人材発掘と紹介）

動物の依存する環境を変えられるか？
何のために被害対策をするか？

地域支援部

動物側へのアプローチ

動物を知ること

生息
（数、場所、環境等）
生態
（行動、移動ルート、頻度）

動物の質を変えられるか
モニタリングの重要性

調査研究部

どんな地域支援を提供するか



STEP. 1
聞き取り・打ち合わせ

農林（行政職員、住民）に被害やその対策状況、動物の生息状況などを聞き取りして現状把握をします。また、畜種の被害に対する考えやご意見を集約します。



STEP. 2
現地調査（予備調査）

視地で地域の環境や動物の生息状況を調査し、現状の問題点を抽出します。また、詳細に動物の止歩状況を把握するため、自動撮影カメラ等による調査も実施します。



STEP. 3
研修会と集落点検

動物の生態や被害対策の基本についての研修会を実施します。その後に住民の畜種と一緒に集落内で被害が発生している場所や、その原因となっている場所を見回りし、問題点と課題を共有します。



STEP. 4
対策提案

問題解決に必要な対策を提案し、それを実施するために必要な研修会の実施や体制づくりのアドバイスもします。研修会の一助：侵入防止柵の設置（改修）研修、追い出し研修、捕獲研修など



STEP. 5
次年度以降の対策提案

本事業で実施した内容や今後の課題について整理し、地域で継続的な対策が行えるように、次年度以降の対策方針や対策実施体制を提案いたします。



地域支援のあり方



地域支援部

知識講習

スタート

地域を考えること
自分ごとに
合意形成
柵ルートと管理
動物の生態/対策

集落ぐるまない
（多様性）

捕獲を始める

中間目標

被害がゼロ
（減少）

誘引物除去

見える幸せ

移住者を増やす
関係人口を増やす
農林業の発展
地域が潤う（経済）

見えない幸せ

感謝とお互い様
生きがい
世代交流
地域を伝える

どんな転換点が
考えられるか？

転換点：人



- 地域のリーダー
- 行政のリーダー
- 地域おこし協力隊
- 専門員
- 専門業者



転換点：伝達



- 近隣集落の成功例
- 個人的な成功例
- 記事やメディア
- 補助金等のメニュー
- 研修会



転換点：状況変化



- 新しい動物の侵入
- 換金作物への被害
- 最新技術の導入
- 補助金等の新規メニュー
- 人口の増加（商業施設）



転換点：危機感



- 人身被害の増加
- 動物の大量出没
- 動物の分布拡大（通学路）



どの転換点でも重要なのは

『知識』

転換点は知ることから始まる



人

地域のリーダー
行政のリーダー
地域おこし協力隊
専門員
専門業者

状況変化

新しい動物の侵入
換金作物への被害
最新技術の導入
補助金等の新規メニュー
人口の増加（商業施設

『知識』

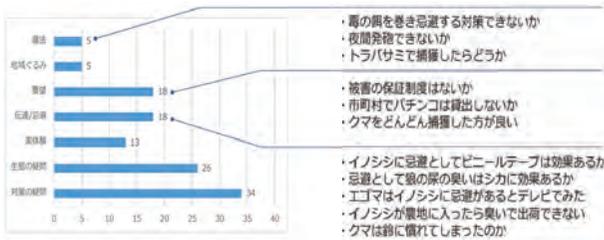
伝達

近隣集落の成功例
個人的な成功例
記事やメディア
補助金等のメニュー

危機感

人身被害の増加・懸念
動物の大量出没
子供らの安全面（通学路

研修会・座談会・講演会の重要性



(宇野, 2024)

- ・毒の害を巻き回避する対策できないか
- ・夜間発砲できないか
- ・トラバサミで捕獲したらどうか

- ・被害の保証制度はないか
- ・市町村でバチンコは貸出ししないか
- ・クマをどどん捕獲した方が良い

- ・イノシシに忌避としてビニールテープは効果あるか
- ・忌避として狼の尿の臭いはシカに効果あるか
- ・エゴマはイノシシに忌避があるとテレビでみた
- ・イノシシが農地に入ったら臭いで出回できない
- ・クマは絆に慣れてしまったのか

- 地域ぐるみ：広域捕、成功例など
- 実体験：ネットを償すシカ、女性に逃げないサル、尊厳する人いない、失敗談
- 生息への疑問：個体数、出生、繁殖、採食物、活動範囲など
- 対策への疑問：道いらい、防護柵、目合、ドローン、犬、捕獲方法など



ご清聴ありがとうございました。

